

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します

審議会等名称	平成28年度 社会教育委員・公民館運営審議会委員会議		
開催日時	平成28年7月14日（木）10時00分～11時45分		
開催場所	西別館第6会議室		
出席者 ※会長 ◎ 副会長○	<社会教育委員> ◎大橋委員 ○中江委員 佐藤委員 随井委員 福井委員 矢倉委員 吉井委員 中野委員 三木委員 城念委員 重野委員 <説明者・事務局> (挨拶) 日岡教育長 (説明者) 江南教育部長 西家生涯学習課長 森村生涯スポーツ課長 川南図書館長 奈良文化観光課参事 (事務局) 明石生涯学習課参事 村井生涯学習課課長補佐 徳井生涯学習課指導主事 岡田生涯学習課副主幹		
次回開催予定	未定		
問い合わせ先	所属名、担当者名 教育委員会生涯学習課 岡田 電話番号 0748-36-5533 FAX番号 0748-36-5565 メールアドレス 045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	要約	要約した理由	長時間に及ぶ会議のため
内容	1. 開会 (1) 委嘱状交付 (2) 教育長あいさつ (3) 自己紹介 2. 各役員について 下記のとおり承認された。 委員長…大橋委員 副委員長…中江委員 滋賀県社会教育委員連絡協議会評議員…楠亀委員、三木委員 ・委員長が、滋賀県社会教育委員連絡協議会理事に就任すること		

	<p>も承認された。</p> <p>【委員長あいさつ】</p> <p>3. 報告・協議事項</p> <p>(1) 平成28年度教育行政基本方針及び重点施策について (各担当部署から報告及び質疑・意見交換)</p>
委員	<p>一点目は、昨年度7月と2月とに近江八幡市社会教育委員・公民館運営審議会委員会議があった時に質問したのですが、その後どうなったかお尋ねしたい。学力が低いのはどこに問題があるのか、子どもにとって何が必要か考えた時に、昨年の分析はしているのかという話をさせてもらった中で、その調査の結果を踏まえて指導するというご回答であった。その後分析をどのようにされているのか。その分析によってどういうことを新たに取り組んでおられるのか。二点目は学校支援地域本部事業ですが、先程の説明で幼稚園と小中学校全校が実施であるのはいいのですが、家庭教育支援事業は小学校の保護者だけが対象ですよね。昨年度も幼稚園に広げるおつもりはないのですかと質問させてもらったところ、就学前教育事業をしているので考えていないというお話だったのですが、小学校の保護者のかかえている問題は、小学校になって初めて出てきたわけではなくて、就学前からはじまっているのだと私は思うのです。幼稚園等に事業を広げていくというおつもりはないのかどうか。</p>
生涯学習課参事	<p>学力の分析についてお答えさせていただきます。昨年度、学校教育課から12月に保護者向けの啓発資料を作成させていただきました。その中に掲載された分析の大きなものとして、携帯・スマートフォンの使用時間と学力の関係の相関図を示させていただきました。携帯・スマートフォンまたはゲーム等の使用時間が0～1時間までは学力の低下はみられなかったが、2時間、3時間、4時間と使用している児童生徒につきましては、極端に学力が下がっているという傾向が近江八幡市で分析されました。そのことをうけまして、保護者向けに、そのことについてご家庭で考えてほしいという啓発資料を作成させていただきました。また、近江八幡市PTA連合会、近江八幡市子ども会育成者連合会等を通じまして、その資料を提供させていただきました。今一度、保護者と子どもとのご家庭での携帯・スマートフォン等についての約束を決めていただきたいということ、啓発させていただきました。</p>
教育長	<p>今言った携帯・スマートフォンと、本市で平成19年からやっております「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」運動のあさ・し・ど・うは、あいさつ、食事、読書、運動ですけれども、家庭教育と共に学校教育で子ども達を支</p>

	<p>えていかないと、子ども達の学力も保障することができないということです。さらに、今年度は学校でふるさと学習というのを実施しています。社会教育委員の方でも近江八幡市の歴史と、文化といたしながら実際歴史と文化をどれだけ見ていただいているのだろうかということで、今日文化観光課からも来ていますので、実際に見ていただくのもひとつかなということと、もう一つ、家庭教育の何を学校から発信していくのか。家庭教育学習の力とか、家庭教育充実週間ということでこういうことをお願いしますということを行っています。また、夏休みには子どものお家に訪問することを今年から行う。ふるさと学習、家庭教育、図書館教育の充実を今年の3つのポイントとして学校にお願いしています。</p> <p>ご指摘があったように、貧困にいられているように家庭そのものが子ども達にとって苦痛な状況であるという状況のお家の子どももいるということで、できるだけ先生方には保護者のおられる時間に家庭訪問してくださいというものの、先生方もたいへん働き過ぎであるといわれています。ですが、子ども達のためにということで家庭訪問をお願いしています。</p> <p>これからは、家庭教育を充実させていかなくはいけない。学校は何が支援できるか、生涯学習課は地域からどう支えていただくか。教育委員にもお願いしていかなくてはいけないところだと思うのですが、大人みんな子どもを支えていかなくはいけない状況であるにもかかわらず、その大人を支えていかなくはいけないという地域のあり方について考えていかなくてはいけないかなと思っております。</p>
生涯学習課課長	<p>家庭教育支援事業の関係でございますが、生涯学習課としても家庭教育支援だけではなくて、市全体で連携するというところで、来月子育て支援の関係課で会議が開かれます。その中で幼児課でありますとか、子育て支援課でありますとかと連携して、生涯学習課がどういうことができるのかを検討していく必要があります。</p>
委員	<p>(2) 中央公民館講座について (事務局から説明及び質疑・意見交換)</p> <p>私もまちづくり協議会で、若い人たちに少し手を動かしてもらおうというしかけをできないかということ、何人かにいろんな意見を出してもらった。全戸配布をしても無しのつぶてに等しい申し込みでした。新聞折り込みをしても他のチラシといっしょに捨てられ見してもらえない。伝えているつもりが、どうやって伝わっているのか解析できていない。実際に募集をかけてもたった1人だったので一旦中止にして、若いお母さんが集ま</p>

	<p>る催しにしかけを作って集まってもらって、同じ中身のものをやったらウワーとやってくれた。やってくれない訳ではない。関心がある訳でもない。今の時代、情報が溢れていて、本当に伝えたいものを伝えるというのが、伝え方が下手。くいつく切り口をさがすのは難しい。1、2歳の子をかかえているお母さんが場所づくりのことをやっていて、そこに提供すると結構くいついてくれた。チラシを出しても無反応。どういうしかけをするか知恵がほしい。</p>
委員	<p>生涯学習課として、市民講座、中央公民館講座の計画を立てていただいているのですが、コミュニティセンターとのかかわりはどのようにされているのですか。</p>
生涯学習課参事	<p>近江八幡市にはコミュニティセンターが11か所ありまして、昨年度1年間ですべてのコミュニティセンターをあわせると、300講座以上されておられます。そこでの参加者は7,000人を超えています。まちづくり協議会でされている講座の方に委託事業としてお願いしている部分はあります。それとは別に中央公民館でしている講座を、コミュニティセンター、図書館をお借りしたりして年間10回程度おこなっています。</p>
委員	<p>10ページの中央公民館と学区のまちづくり協議会との連携という部分で、まちづくり協議会が社会教育、生涯学習を実践されている。地域課題、人権のすべき部分は市の方から言っておられるんだと思います。ある部分はまちづくり協議会に行かせてもらおうと賑わっているのだけれども、地域コミュニティの深い連携という部分でできているのかなという思いを持っています。中央公民館講座でも15名とか、20名とかという参加者というのは、いいお話をされているのに予算を使って残念。こういうことでしたら副委員長がおっしゃっていたように、まちづくり協議会に「10名しかいないのでどうですか」と声をかけていただいたら、40人定員いっぱいより良い話を聴いて次に活かせる。また、それがつながっていく。11コミュニティセンターがロコミでされたら150人、200人の参加があると思うので、チラシも含めてですけど、少し根回しというか、つながっていけるようなしくみができたら。私達自身も、委員長が社会教育委員のあり方というのが曖昧という意見に同感です。もっとまとまりを持って、目標を持って社会教育委員が地域を中心につながる方法を研修も含めてできたらいいなと思っているのですけれど。</p>
委員	<p>各11か所のまちづくり協議会の計画が5月ぐらいにでる。全体会議をやって、いろんな問題点と来年度に向けての調整の話をしておいたら、次の</p>

<p>生涯学習課課長</p>	<p>年に反映ができると思う。</p> <p>各まちづくり協議会によって講座を持たれていると思うのですが、部会レベルでないと詳しい年間の予定というのはあがってきません。もし中央公民館として会議に行くのであれば、まちづくり協議会の中で生涯学習に関わる部会の会議があれば一番いいかと思うのですが、今はありません。</p>
<p>委員</p>	<p>地域の人に周知する段階で計画をさわってもしかたがない。その段階で出てきたプログラムを中央公民館に集めて協議して、どこかの会議で来年に向けて調整を中央公民館の役割としてやっていただけたら、まちづくり協議会との連携がうまくいくのではないかな。</p>
<p>委員</p>	<p>まちづくり協議会の中には、それぞれ部会があります。10月ぐらいには来年度、どういう事業をするのかを出していき、数回会議をして事業を決めていきます。1月ぐらいはそれに基づいた予算づけ、3月ぐらいに理事会等の説明会をして、4月に総会という流れになります。10月ぐらいに来年度の事業を決めるという前あたりに情報提供できれば可能。</p>
<p>委員</p>	<p>数年前に中央公民館から、4まちづくり協議会に1人ぐらいの指導者が来て協議していくという話だったので、地元の安土のまちづくり協議会に聞いてみたのですが、中央公民館からは来ていない。人を集めているいろんなイベントをするのに、市役所の職員はチラシを各事業所、各支所に置いたらすむみたいと思っているから、みんなに届かない。コミュニティセンターの窓口はみなさんよく行かれ、情報を身近に聞ける場所です。口コミというのが一番多く人が来てくださる。コミュニティセンターの職員は、そういうのは私たちの仕事ではないと言われる。そのことは中央公民館から各まちづくり協議会に言っていただいて、情報を流していただけたらどうかと思います。若い子の情報はスマートフォンで、大きな情報源ですので、そういうことも利用されたいと思います。チラシは見ても行こうと思わないけれど、人から聞いたからお付き合いですから行こうかなと思いますし、人が増えていくと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>中央公民館は市の方向をどのようにまとめるのかという役割ということで、中央とつながっているのかなと理解をします。一昨年に生涯学習課でコミュニティセンターの生涯学習に関わる人を集めた会議が、八幡コミュニティセンターでありました。多くの人から続けてやってくださいと声がありました。昨年はなかった。担当者によって次につながっていない。その</p>

委員	<p>ことについて、もう一度組み立て直してほしい。</p> <p>地域には行事が多くある。みなさんを集めて何かをするというのはたいへんだと思うのです。中央公民館が指導するという訳ではないですけど、まちづくり協議会は独立しているので、強制ではないですけど、意見を聞いてまとめてそこに返す。返してそのことに対してのアンケートを取るといようなことをどんどんやっていただく。</p>
委員	<p>これまで中央公民館とコミュニティセンターとの交流というのは、ほとんどなされていませんでした。2年前生涯学習課がまちづくり協議会担当者との情報交換をされました。その中で市の方も関わっていければという話しであったと思うのですけれども、その後一度も開かれていません。行政とコミュニティセンターとの関係性ですね。連携というのは必要。コミュニティセンターとの交流を継続して持っていたきたい。長浜市でも公民館をコミュニティセンターへ移行。条例でコミュニティセンターでも社会教育についてやってくださいという一条増やしてもらいました。そうしないと関係が完全に断ち切られてしまう。近江八幡市では条例に書かれていないと思いますので、できれば条例できちっと定めていただくというのがいいのですけれど、ないならないなりに実質的に、主体的に行政から関係性を築いていただければスムーズにいくかと思います。</p>
委員	<p>コミュニティセンターというのは建物、事業を実施するのはまちづくり協議会。まちづくり協議会ができたときに、中央公民館と本来の地区の公民館との関係が切れてしまっている状況。もう一度まちづくり協議会と市の立場とのすり合わせをして考え方を作り直してもらう時期にきているのではないかと思います。</p> <p>(3) その他 ①『近江八幡市生涯学習社会づくり構想・実施計画』について (事務局より資料に基づき説明・質疑なし)</p> <p>(3) その他 ②社会教育関係団体等活動補助金の交付について (事務局より資料に基づき説明・質疑なし)</p> <p>(3) その他 ③近江八幡市 市民総あいさつ運動について (事務局より資料に基づき説明・質疑なし)</p>

(3) その他

④滋賀県人権教育研究大会について

(事務局より資料に基づき説明・質疑なし)

4. 連絡事項

(事務局より説明)

5. 副委員長閉会あいさつ